

【公報種別】 特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
【部門区分】 第 1 部門第 2 区分
【発行日】 令和 7 年 4 月 21 日 (2025.4.21)

【公開番号】 特開 2024-7287 (P2024-7287A)
【公開日】 令和 6 年 1 月 18 日 (2024.1.18)
【年通号数】 公開公報 (特許) 2024-010
【出願番号】 特願 2022-108702 (P2022-108702)
【国際特許分類】
A 61 B 3/10 (2006.01)
【FI】
A 61 B 3/10 100

10

【手続補正書】
【提出日】 令和 7 年 4 月 11 日 (2025.4.11)
【手続補正 1】
【補正対象書類名】 特許請求の範囲
【補正対象項目名】 全文
【補正方法】 変更
【補正の内容】

20

【特許請求の範囲】
【請求項 1】

被検眼の撮影部位に対して測定光を照射すると共に、前記測定光と参照光とのスペクトル干渉信号を検出する OCT 光学系と、

前記撮影部位に対して観察光を照射すると共に、前記観察部位からの観察光の反射光に基づいて前記観察部位の正面画像を取得するための観察光学系と、

被検眼の眼底と前眼部との間で前記 OCT 光学系および前記観察光学系における前記撮影部位を変更する変更手段と、

前記 OCT 光学系および前記観察光学系を含む撮影ユニットを、被検眼に対して移動させる駆動部と、

30

制御部と、を備え、

被検眼の前眼部が前記撮影部位である場合に、前記制御部は、前記観察光学系を介して逐次取得される前眼部の正面画像を画面上の第 1 領域に表示させると共に、前記駆動部を制御するための操作入力を前記第 1 領域を介して受け付ける OCT 装置。

【請求項 2】

被検眼の前眼部が前記撮影部位である場合に、前記制御部は、前記第 1 領域における前眼部の正面画像上で位置を指定する操作入力を、ポインティングデバイスを介して受け付けると共に、指定された位置に表示される前眼部の組織が前記第 1 領域内の所定位置に表示されるように、被検眼に対して前記撮影ユニットを X Y 方向に関して移動させる請求項 1 記載の OCT 装置。

40

【請求項 3】

被検眼の眼底が前記撮影部位である場合に、前記制御部は、前記観察光学系を介して逐次取得される眼底の正面画像を前記第 1 領域に表示させると共に、眼底上のスキャン位置を X Y 方向に関して変更するための操作入力を前記第 1 領域を介して受け付ける請求項 1 記載の OCT 装置。

【請求項 4】

前記観察光学系とは異なる第 2 観察光学系であって、被検眼の眼底が前記撮影部位である場合に被検眼の前眼部を観察するための第 2 観察光学系を備え、

前記制御部は、被検眼の眼底が前記撮影部位である場合には、前記第 2 領域には、前記第 2 観察光学系を介して逐次取得される前眼部の正面画像を第 2 観察画像として表示させ

50

る、請求項 1 記載の OCT 装置。

【請求項 5】

前記画面上には、前記第 1 領域と共に第 3 領域が配置されており、

前記制御部は、前記第 3 領域には、前記 OCT 光学系を介して逐次取得される被検眼の OCT 画像によるライブ画像を表示させる、請求項 1 記載の OCT 装置。

10

20

30

40

50